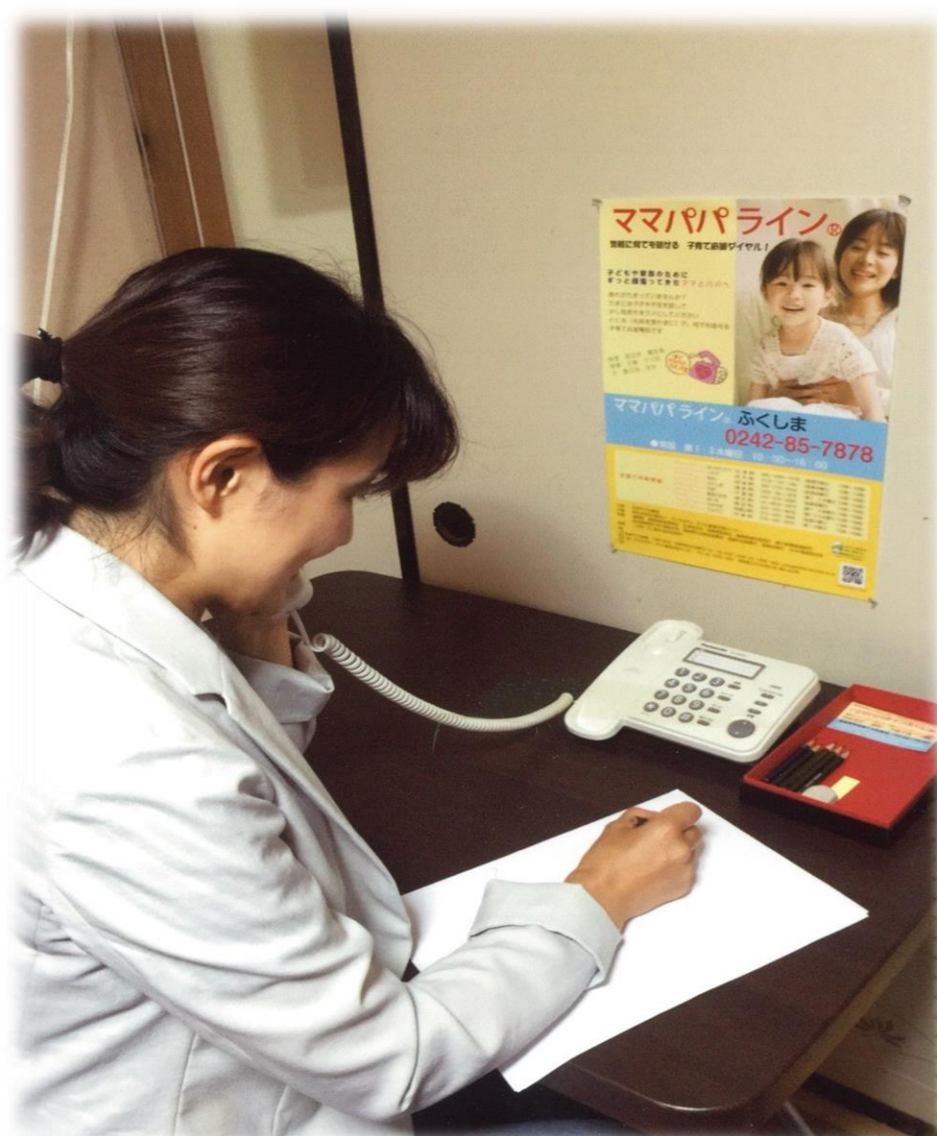


助成受給団体名	ふりがな あいづこどもげきじょう 会津子ども劇場
事業の名称	傾聴電話事業「ママパパラインふくしま」
実施期間	2015 年 8 月 1 日 ~ 2016 年 7 月 31 日
実施した事業の内容 ① 「ママパパラインふくしま」のカード 100,000 枚とポスター200 枚を教育委員会を通して各市町村へ配布し、子どもたちの手から養育者のもとに届けることができた。県庁を訪問し周知協力を依頼しました。 ② 毎月第1・第3木曜日 10:00~16:00 に電話開設 全国キャンペーンとして他の地域のママパパライン 8 箇所と同時に 2016 年 2 月 15 日(月)~2 月 20 日(土)の 6 日間連続で開設し、電話に向かいました。 開設日 28 日 電話件数 31 件 通話時間 1,661 時間 平均 54 分 ③ 傾聴ボランティア養成講座 5 回開催し、仲間作りとスキルアップを図った。 <ul style="list-style-type: none"> ● カウンセリングから見える子どもの姿 ● 事例研修 傾聴とは何か? ● 傾聴文化を拓げる講座 ● 事例研修 気持ちに寄り添う ● 受容と共感で心地良い人間関係作り 	
事業の成果 <ul style="list-style-type: none"> ● 主要 16 市町村に継続して配布できたことが教育委員会の信頼に繋がり周知の協力を得ることができた。 ● 電話件数が前年比 120% 増になりカード 100,000 枚配布の効果だと思われる。 ● 非営利任意団体のため運営の要である電話代の確保が保障されたことで安心して活動が継続できた。 ● 助成金により専門的知識を持つ講師を要請でき高度な傾聴の講座を受けることができた。 ● 講座を受けることにより、電話対応の不安や課題を共有し意見交換ができて傾聴の基本に立ち返り相手の気持ちに寄り添える対応に自信が持てた。 ● 5 回の講座を実施することでスタッフのスキルとモチベーションアップにつながった。 	
今後の課題 <ul style="list-style-type: none"> ● 震災後 5 年が経ち電話件数、通話時間の増加がみられ継続の必要性がある。 ● 内容が多様化、深刻化しており、受け手の資質向上が必至。 ● 福島県内のカード未配布地域に配布。 ● 虐待未然防止にも寄与。 	



カウンセリングから見える
子どもの姿



あなたをひとりにはしない・させない!!「ママパパライン」

「ママパパラインふくしま」

電話だからこそ何でも言える。気軽にダイヤルを!

0242-85-7878

通常開設は第1・3木曜日 10:00~16:00
2016年2月15日(月)~2月20日(土)は
全国キャンペーンにつき、毎日開設しております。

助成：(公財)日工組社会安全財団

子どもをもつママ・パパ・家庭の子育ての悩みや不安、とまどい、喜び等の気持ちを聴く専用電話です。

ママパパラインほっかいどう	080-6062-4735	(毎週月)	13時~16時
ママパパラインいわて	0120-147-445	(毎週木)	10時~14時
ママパパライン仙台	022-773-9140	(毎週金)	10時~16時
ママパパラインちば	043-204-9390	(毎週金)	10時~16時
ママパパライン東京川の手	03-3633-0415	(第1・3金)	13時~16時
ママパパラインあいち	052-203-8655	(第1・3・5水)	10時~16時
ママパパラインわかやま	073-432-3690	(毎週火)	13時~16時
ママパパラインひょうご	078-945-8333	(第1水)	10時~16時

2012年から開設しています。
「ママパパラインふくしま」は福島県・会津若松市・福島県医師会等の後援を受けて開設されています。

会津子ども劇場
TEL・FAX 0242-27-0588 E-mail a-kogeki@pluto.plala.or.jp